

衆議院内閣委員会ニュース

平成 29.12.1 第 195 回国会第 3 号

12 月 1 日（金）、第 3 回の委員会が開かれました。

1 公務員の制度及び給与並びに行政機構に関する件（人事院勧告）

- ・梶山国務大臣、一宮人事院総裁及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

森山浩行君（立憲）

- ・国家公務員の長時間労働の実態について、人事院に伺いたい。
- ・民間企業に対しては「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関するガイドライン」が公表されているが、国家公務員に対しても同様の取組を進めているのか。
- ・業務量に見合った国家公務員の定員配置が行われていないと考えるが、政府の見解を伺いたい。

阿部知子君（立憲）

- ・人事院における災害補償業務について平成 20 年 5 月より開始された改善点に関し、人事院に伺いたい。
- ・公務災害の認定のため、脳・心臓疾患を死因とする人数に関し経年的な推移を把握するべきと考えるが、自衛隊では保存期間 1 年間の行政文書として期間後に廃棄している。関係文書の適切な取扱いについて、人事院と防衛省で意見交換をする必要があるのではないか。
- ・学校法人加計学園の国家戦略特区における獣医学部新設に関する議論に当たり、将来的に獣医師が不足するとした試算が提出されているが、その妥当性はどこで検証されたのか。

柿沢未途君（希望）

- ・人事院勧告後の平均給与が、国税庁の民間給与実態統計調査に基づく平均給与より 1.6 倍も高い金額となっていることについて人事院の見解を伺いたい。
- ・行政職俸給表（一）において、各級間での金額の重なりが大きいことを解消すべきとの考えに対する人事院の見解を伺いたい。
- ・人事院勧告制度の見直しを進めていくべきとの考えに対する政府の見解を伺いたい。

中川正春君（無会）

- ・公務員のワークライフバランスについて、総合的にどのように理解しているのか、また、将来の施策としてどのようにまとめようとしているのか、梶山国務大臣の見解を伺いたい。
- ・公務員の精神疾患の発症率が民間に比べ高いこと及び超過勤務時間が民間と比べ長いことを考えると、しっかりと焦点を当てて問題を解決する必要があると考えるが、人事院の見解を伺いたい。
- ・公務員の超過勤務時間の長さ及び精神疾患の発症率の高さの解決に向け、梶山国務大臣がどのような施策を考えているのか伺いたい。

玉城デニー君（自由）

- ・公務員の月例給上げの基準となった、民間給与についてどのような景況が影響していると考えているのか人事院の説明を伺いたい。
- ・官民の賃金格差について、中央と地方とではどのような配分の見直しを行うのか、人事院の見解を伺いたい。
- ・公務員の非常勤職員の給与について、同一労働同一賃金の観点から具体的にどのような見直しを行うべきか、人事院の見解を伺いたい。

塩川鉄也君（共産）

- ・2014 年から 2017 年までの間の顧問及び参与等を除いた国家公務員の非常勤職員数について政府に伺いたい。
- ・「国家公務員の非常勤職員の給与に係る当面の取扱いについて」（人事管理運営協議会幹事会申合せ）を踏まえ、公務員の非常勤職員の実態を把握し、処遇改善の実施状況を公表すべきと考えるが、梶山国務大臣の見解を伺いたい。
- ・人事院の平成 27 年の年次報告書には、「従来常勤職員が担っていた業務を非常勤職員が代替して恒常的に担っている実態が仮にある場合、それらの業務には常勤職員を

任用することが適当である」とあり、これは、非常勤職員の公務の職場における役割の重要性を示すものであると考えるが、人事院の見解を伺いたい。

2 ①一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律案（内閣提出第1号）

②特別職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第2号）

③国家公務員退職手当法等の一部を改正する法律案（内閣提出第3号）

- ・梶山国務大臣、一宮人事院総裁及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・塩川鉄也君（共産）及び浦野靖人君（維新）が討論を行いました。
- ・①について採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成—自民、立憲、希望、公明、無会、共産、自由 反対—維新）
- ・②について採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成—自民、立憲、希望、公明、無会 反対—共産、維新、自由）
- ・③について採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成—自民、立憲、希望、公明、無会 反対—共産、維新、自由）

（質疑者及び主な質疑内容）

小寺裕雄君（自民）

- ・IT分野など人材が不足していると言われる分野において優秀な人材を確保するため、能力に見合った待遇で採用する制度を創設する必要があると考えるが、政府の見解を伺いたい。
- ・「経済財政運営と改革の基本方針 2017」（平成 29 年 6 月 9 日閣議決定）において「公務員の定年の引上げについて、具体的な検討を進める」とされているが、今後どのように検討を進めていくのか政府に伺いたい。
- ・優秀な人材確保、同一労働同一賃金の実現、人事評価の在り方など公務員制度における課題は山積みだが、今後どのような人事改革を行うつもりなのか、梶山国務大臣に伺いたい。

濱村進君（公明）

- ・国家公務員の初任給に関して、民間企業との給与水準の差はどの程度あるのか、また、同水準にする必要があると考えるが、政府に伺いたい。
- ・「兼業・副業を通じた創業・新事業創出に関する調査事業研究会提言～パラレルキャリア・ジャパンを目指して～」（平成 29 年 3 月）において言及されている公務員の兼業・副業解禁の検討について梶山国務大臣の見解を伺いたい。
- ・兼業に係るガイドラインを策定するなど、国家公務員の兼業を推進することは、地方への影響を通じて地方創生に資すると考えるが、梶山国務大臣の見解を伺いたい。

森山浩行君（立憲）

- ・民間において正規雇用労働者と比べ非正規雇用労働者が受けている不利益な扱いを是正するために、国は民間に対してどのような呼び掛けを行っているのか。
- ・各府省における非常勤職員について、職員数及び5年前と比較した増減を伺いたい。
- ・国家公務員の慶弔に係る休暇について、常勤職員と非常勤職員との差異を伺いたい。

後藤祐一君（希望）

- ・国家公務員制度改革基本法第12条に規定される自律的労使関係制度の措置に関し、最近1、2年において担当大臣はどのくらい職員団体との意見交換を行っているのか、梶山国務大臣自身の実績と併せて伺いたい。
- ・国家公務員の非常勤職員の期末手当・勤勉手当に相当する給与について、全体としての支給率及び支給率が低い府省を伺いたい。
- ・公務員の退職手当引下げに伴う駆け込み退職者は、叙勲の対象外にするという考えについて、検討の可否を梶山国務大臣に伺いたい。

中川正春君（無会）

- ・国から地方自治体への出向において、異動元と異動先での役職の格が揃っておらず地方が格下となる傾向があるが、こうした慣行を見直していくべきではないか、梶山国務大臣の見解を伺いたい。
- ・国家公務員の人事評価の在り方についてどのように考え

るか、梶山国務大臣の見解を伺いたい。

塩川鉄也君（共産）

- ・退職手当について、人事院は労働条件性を認めているが、政府としては勤続報償の性格が強いとしながらも労働条件として扱っている民間の退職手当と官民比較を行っているのは筋が通らないのではないか。
- ・人事院による退職手当の調査内容について、退職の際、民間では雇用保険の適用があるが、公務ではその適用がないことを官民比較で考慮していないのは、公務員の特殊性をとらえた官民比較になっていないのではないか。

- ・給与制度の総合的見直しによる現給保障の措置が来年3月末で終了になるが、現に賃下げとなる公務員が生じることは適当ではなく、賃下げ回避を行うべきと考えるが、梶山国務大臣の見解を伺いたい。

浦野靖人君（維新）

- ・第2次安倍政権発足後、公務員の人件費について、国と地方でそれぞれどれくらい上昇しているのか。
- ・第2次安倍政権以降、政府が行財政改革の取組によって生みだした財源はいくらか。
- ・公務員の給与の引上げより、介護士や保育士の給与を引き上げるほうが優先順位が高いと考えるが、梶山国務大臣の見解を伺いたい。